



広報

伊万里

平成20年度 予算特集号

3月26日午後、東山代町長浜干拓の『ツル越冬地』に300羽を超えるナベヅルが舞い降りました。鹿児島県出水市からシベリア方面に向かう旅の途中、伊万里でひとときの『羽休め』を楽しんだツル【写真下】は、翌27日午前、一斉に大空に飛び立ち、伊万里を後にしました。【写真上】



平成20年度 当初予算総額

193億6800万円

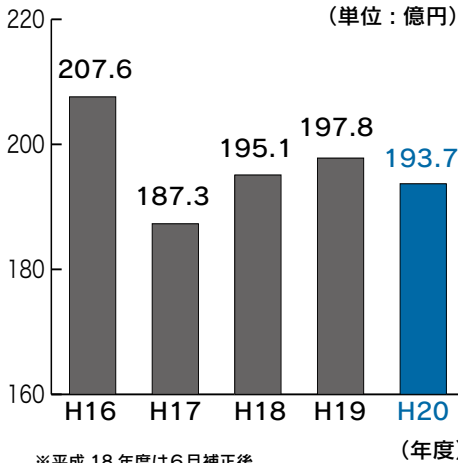
一般会計

伊万里市では、誘致企業の好調な業績などに伴い、法人市民税の今後の伸びが期待される一方、全国的な傾向として、地方交付税の原資となる国税や地方税の伸びの鈍化、社会保障費の増大や公債費比率の高い状況での推移が見込まれ、厳しい財政運営を強いられることが予測されます。

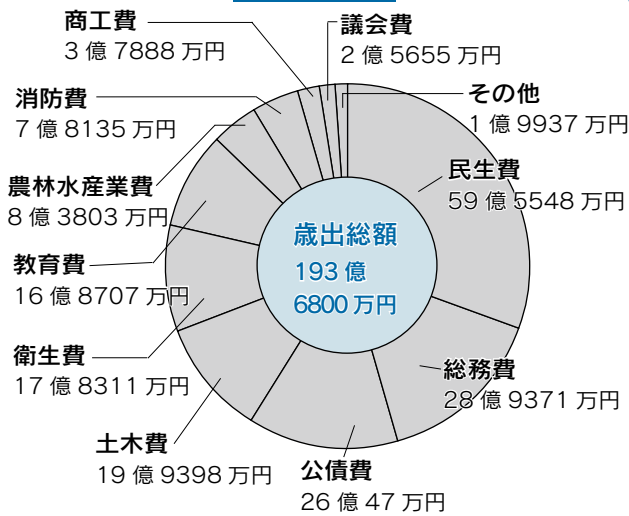
このため、平成20年度予算編成にあたっては、工業用水道開発や新統合病院など、将来において快適な市民生活を支えるためのインフラ整備に集中的な投資を行うつつ、限られた財源の中で、健康福祉分野など市民福祉の向上に配慮しながら、事業の重要性や緊急度を考慮し、財源の重点的・効率的運用を図り、予算の編成に努めました。

その結果、平成20年度の伊万里市一般会計当初予算は、総額で193億6800万円となりました。これは、平成19年度と比較すると、2.1%の減少となります。

一般会計予算額の年度別推移

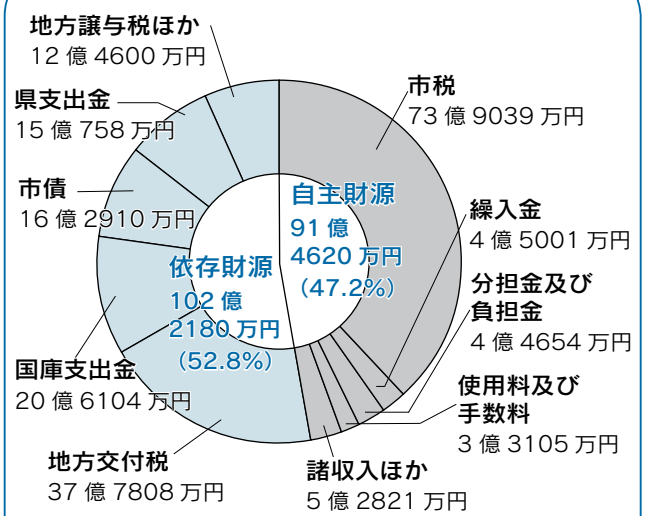


歳出



- 民生費………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です
- 総務費………企画、男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です
- 公債費………借入金の返済に要する経費です
- 土木費………道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
- 衛生費………保健衛生、ごみの収集・処理などに要する経費です
- 教育費………小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
- 農林水産業費………農林水産業の振興に要する経費です
- 消防費………火災など災害に対応するための経費です
- 商工費………商工業や観光の振興に要する経費です
- 議会費………議会運営に要する経費です
- その他………労働費、諸支出金、災害復旧費などです

歳入



- 市税………個人と法人の市民税、固定資産税、たばこ税などです
- 繰入金………基金や特別会計からの繰入金です
- 分担金・負担金………災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです
- 使用料・手数料………施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです
- 諸収入………雑入などです
- 地方交付税………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
- 国庫支出金………国からの負担金や補助金です
- 市債………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
- 県支出金………県からの負担金や補助金です
- 地方譲与税ほか………国税から譲与されるものです

特別会計

市では、一般会計のほか、特定の事業を行うときに、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして『特別会計』を設けています。

平成20年度は、表1のとおり8つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の予算総額は、155億5940万円となっています。

■国民健康保険特別会計
国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付を行うための会計です

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	64億3,767万円
介護保険	47億9,996万円
立花台地開発事業	5,770万円
公共下水道事業	21億7,999万円
農業集落排水事業	1億2,991万円
市営駐車場	1,471万円
老人保健	8億1,905万円
後期高齢者医療	11億2,041万円

■介護保険特別会計
介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です

■立花台地開発事業特別会計
公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です

■公共下水道事業特別会計
快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備や処理場の維持管理を行うための会計です

■農業集落排水事業特別会計
農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です

■市営駐車場特別会計
市営駐車場の維持管理を行うための会計です

表2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業	病院事業	
収益的収支	収入	13億7,722万円	7億5,446万円	11億3,237万円
	支出	13億7,722万円	7億5,446万円	11億3,237万円
資本的収支	収入	11億9,279万円	86億7,238万円	1億6,613万円
	支出	20億1,241万円	87億1,582万円	1億6,632万円

中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です

■老人保健特別会計

75歳以上の高齢者と、70歳以上で一定の障害がある人を対象に医療給付を行うための会計です

■後期高齢者医療特別会計 (新規設置)

平成20年度から始まった『後期高齢者医療制度』の適用を受ける、75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から保険料を徴収し、徴収した保険料を

企業会計

佐賀県後期高齢者医療広域連合へ納付する会計です

市では、特別会計の中でも経営成績を明確にするため、『地方公営企業法』の適用を受けるものとして、次の3つの企業会計を設けています。それぞれ別の会計ごとの予算額は表2のとおりです。

■水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

■工業用水道事業特別会計

表3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	207億896万円	
特別会計	公共下水道事業	150億4,961万円
	農業集落排水事業	14億9,691万円
計	372億5,548万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	49億194万円
	工業用水道事業	75億7,582万円
	病院事業	3億1,031万円
	計	127億8,807万円

※平成19年度3月補正後の金額です
※主な借入先は、財務省、公営企業金融公庫、佐賀県、市中金融機関などです

■病院事業特別会計

市民の健康保持に必要な医療を提供するため、診療報酬などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

市債現在高

3のとおりです。市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表

元気な伊万里をつくる



伊万里市長 塚部芳和

平成20年第1回定例会市議会（3月議会）で、塚部市長が平成20年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介するとともに、塚部市長が市政運営のキーワードとして掲げる『元気なまちづくり』実現のための主な事業と予算の概要を説明します。

平成20年 第1回定例会 所信表明

はじめに

わたしは、『さわやか市政』の政治信条のもと、市長として市民の皆さまから負託を受け、早くも、2期目の折り返し点に差しかかりました。

これまでの6年間、常に、市民と同じ目線に立った考え方と前例にとらわれない新たな発想による市民本位、成果重視の自治体経営を心がけてきました。特に、今期に臨むにあたっては、『元気な伊万里

市づくり』をキーワードとした政策実行計画（マニフェスト）を定め、未来志向型の伊万里市づくりという大きな視点と、市民がそれぞれの地域で暮らしやすさを実感できるきめ細かな配慮のある伊万里市づくりの2つの軸のもと、マニフェストに掲げた『5つの元気なまちづくり』を基本方針に、各種事業を推進してきたところです。

重点プロジェクトの

早期実現への取り組み

昨年、総合計画の策定に向け実施した市民アンケートにおいて、市政全般に及ぶ施策メニューの中から、市民が最も重要であるとする施策として『安心して働くことができ、安心して暮らすこと』が選ばれており、このことから、選択と集中の理念のもと、雇用機会の拡大や市民生活の向上をめざす施策の中から、いくつかの重点プロジェクトの位置付けを行い、その早期実現に向け、積極的に取り組んでいきます。

その中でも、第4工業用水道については、来年7月の供用開始に向け、迅速かつ確実な事業の推進を図ります。

市民待望の高度・救急医療

などに対応できる新統合病院については、建設場所や費用負担などの見通しがつき実現へ大きく踏み出したところであり、次の段階である基本設計や用地取得に取り組むなど、有田町との緊密な連携を図り、一日も早い開院をめざしていきます。

また、広域ごみ処理施設については、松浦町の皆さまへの住民説明会を開催し、複数の候補地の検討をお願いしたところであり、まずは、町民の皆さまのご理解とご協力を得たうえで、新たな施設整備に向け取り組んでいきます。

港湾・道路網の整備で

本市経済の浮揚を図る

このほか、アジアに向けた物流拠点としての伊万里港の機能を高めるマイナス13岸壁の整備をはじめ、近隣の都市との時間的距離を短縮し交流を促進するための幹線道路である国道202号、国道204号、国道498号大坪バイパスの整備など、本市経済の浮揚と市民生活の向上に大きな効果をもたらす大型事業の早期完成に向け、国や佐賀県に対する働きかけを、なお一層強めていきます。

元気なまちづくり実現のための主な事業

●ふるさと応援推進事業 65万円

寄付条例を創設し、市民や全国の伊万里ファンの人たちに、本市固有の地域資源や特色を生かした元気プロジェクトへの支援をお願いし、用途を指定した寄付を募ります
財源 市65万円 問合せ先 財政課

●第5次総合計画策定事業 663万円

市政全般の方向性を示す重要な計画である第5次総合計画の基本構想、基本計画を策定します
◆計画期間 平成21年度～平成30年度
◆内容 ①基本構想、基本計画の策定
②総合計画審議会の開催
財源 市663万円 問合せ先 企画政策課

●21世紀市民ゆめづくり計画支援事業 297万円

市民と行政の協働による新しい伊万里、楽しい夢のあるまちづくりを実現するために、市民からゆめづくり計画やアイデアを募集して支援を行います
財源 財産収入11万円 市286万円
問合せ先 男女協働・まちづくり課

●文化のまちづくり推進事業 250万円

(コミュニティ助成事業費補助金)
(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業の採択を受け、大川町宿地区で例年8月24日に行われている六地藏尊の祭り(地藏祭り)に使用する山車などの格納庫の整備(新設)に対し、助成します
財源 諸収入250万円 問合せ先 男女協働・まちづくり課

●地域の元気推進事業 332万円

市民と行政が協働する地域のまちづくりを推進するため、先導的に取り組む町について、交付金事業を実施します
財源 県41万円 繰入金291万円
問合せ先 男女協働・まちづくり課

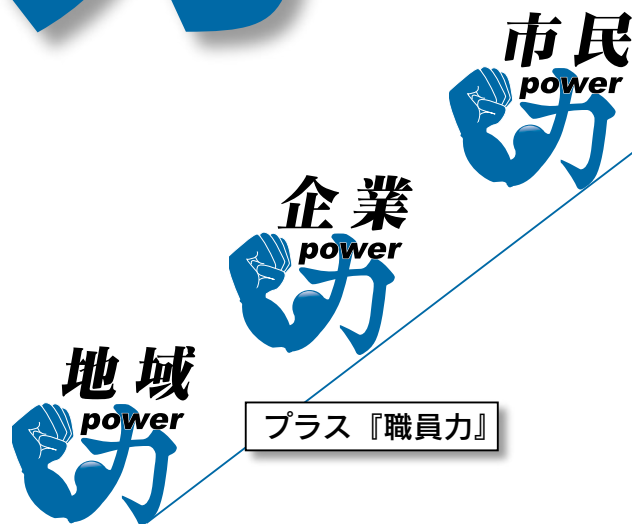
●市民活動支援センター管理運営事業 250万円

まちづくり団体の情報交換や交流の場等の活動拠点として整備し支援します
財源 諸収入37万円 市213万円
問合せ先 男女協働・まちづくり課

次ページからは、マニュアルに掲げた『5つの元気なまちづくり』の基本方針に基づいて取り組む主な施策と予算について説明します。

わたしは、こうした基本的な方針に基づき、市政を運営していくにあたり、まずは市民の皆さんに『市民力』と『企業力』、そして、さらに広がりをもつ『地域力』を期待しています。そして、これらの3つの力に『職員力』を加えることにより、磐石の態勢を作りながら、まちづくりの究極の目標である『住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里』の実現に向け、山積する課題に果敢に挑戦していきます。

力を集め



市民の元気こそ

市政運営の原動力

本市が未来に向け着実な歩みを進めていくために必要なものは、市民の元気であり、その元気こそが市政を運営するための原動力にほかなりません。こうしたことから、わたしは、市民の創意と責任による自立的かつ主体的な新しいまちづくりとして『地域の元気推進事業』に取り組んでおり、平成20年度は他地区に先駆けて取り組まれる波多津町と二里町への支援を行うと

ともに、全市的な拡大を図るなど、元気なまちづくりをさらに推進していきます。

また、国において予定されている『ふるさと納税』制度の創設を絶好の機会と捉え、市民をはじめ多くの伊万里ファンの人たちに、本市固有の地域資源や特色を生かした元気プロジェクトへの支援をお願いするため、ふるさと伊万里応援のための寄付制度を創設しました。

一方、まちづくりについては、中長期的な展望に立った基本的指針に基づき進めてい

くべきものであるため、現在、平成21年度から10年間における本市の行政運営の指針となる『第5次伊万里市総合計画』を策定しています。人口減少社会と厳しい財政状況を前提とした混沌とした時代であるがゆえに、高い実効性を備えたものとして、また、『元気』に象徴される将来の夢と希望を織り込んだものとして、多くの市民の皆さんの参画を図りながら計画を策定します。

住みたいまち伊万里

行きたいまち伊万里へ

歴史や伝統文化、特産品など、地域の宝を生かした元気なまち

市外から訪れる人に『焼き物の里・伊万里』のイメージを強くアピールするため、幹線道路の随所に伊万里焼のモニュメントを設置する『伊万里焼ロードギャラリー』を実施するとともに、もてなしの心で伊万里の魅力伝える観光ボランティアガイドの養成に引き続き取り組みます。

また、伊万里焼や伊万里梨などのブランドを世界へ送り出すためのアジアネットワーク事業については、販路の拡大と確立によるビジネスベースへの移行を図るため、大連市内での交流拠点の設置に向けた調査に取り組みます。

地域の特色を生かした生涯学習活動や住民のコミュニティ活動の拠点である公民館については、新たに大川公民館の改築に向けた実設計に取り組みます。



『ツル越冬地』東山代町長浜干拓に飛来したナベヅル

● 住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里推進事業 690万円

(マイタウン定住奨励金) 市外居住者で、市内において住宅を取得し、転入した人に奨励金を交付します

財源 国310万円 市380万円

問合せ 企画政策課

● ツル越冬事業 252万円

ツルの越冬を促進するため環境整備を行い、ツルの越冬誘致を図ります

財源 県40万円 市212万円

問合せ 農山漁村整備課

● 国際アマチュア陶芸展事業 93万円

伊万里焼の産地として、広くPRを行うため、国内外からアマチュア陶芸家の作品を募集し、陶芸展を開催します

財源 国37万円 繰入金50万円 市6万円

問合せ 商工観光課

● イマリンビーチ管理運営事業 859万円

イマリンビーチの年間を通じた維持管理を行います

財源 使用料5万円 諸収入170万円 市684万円

問合せ 商工観光課



市内幹線道路に伊万里焼のモニュメントを設置する『伊万里焼ロードギャラリー』(写真はイメージ)

● 大川内山キャンプ場管理運営事業 77万円

大川内山キャンプ場の維持管理を行います

財源 市77万円 問合せ 商工観光課

● 観光ボランティアガイド養成事業 17万円

伊万里への来訪者の満足度を高め、リピーターの増加をめざすなど、観光客の誘致促進を図るため、観光ボランティアガイドを養成します

財源 国7万円 市10万円 問合せ 商工観光課

● 伊万里焼ロードギャラリー事業 383万円

『焼き物の里いまり』をアピールし『行きたいまち伊万里』を推進するため、『伊万里を感じる街並み修整計画』に基づき、市街地の進入口などに陶磁器を利用したモニュメントなどを設置します

財源 国300万円 市債70万円 市13万円 問合せ 土木管理課

● 博物館・美術館構想研究事業 9万円

博物館・美術館の建設に向け、基本構想策定委員会を開催し、基本構想の策定を平成19年度に引き続き行います

財源 市9万円

問合せ 生涯学習課



伊万里ウオーク『秘窯の里・鍋島コース』を楽しむ参加者

● 筒江窯跡調査事業 776万円

大川町内で建設が進められている井手口川ダムの水没区域内に所在する筒江窯跡について、文化財の保護と開発の調整を図るため発掘調査を行います

(財源) 県775万円 市1万円

問合先 生涯学習課

● 公民館管理運営事業 8665万円

各町公民館の運営および維持管理を行います

(財源) 使用料252万円 諸収入397万円 市8216万円

問合先 生涯学習課

● 伊万里塾推進事業 70万円

地域の歴史、文化、風土、自然などの特性を生かした地域づくりを推進するため、地域の特性や課題などを踏まえた生涯学習を各種団体と連携しながら、各町公民館を拠点に独自の講座などを開催します

(財源) 市70万円 問合先 生涯学習課

● 特色ある公民館創造事業 40万円

地域づくりの拠点である公民館の主導のもと、特色ある地域づくりを実践するための活力ある公民館活動を推進します

(財源) 市40万円 問合先 生涯学習課

● 大川公民館建設事業 660万円

昭和46年に建設され、老朽化が著しい大川公民館について、大川運動広場内への移転改築に係る設計や地元との協議を行います

(財源) 市660万円 問合先 生涯学習課

● ウオーキング大会開催事業 55万円

誰もが気軽に参加できる『歩きたくなる街〜伊万里ウオーク』を開催し、市民の健康づくりを推進するとともに、全国のウオーキングファンへ呼びかけることにより、伊万里を広くPRします

(財源) 国22万円 市33万円 問合先 体育保健課

問合先 体育保健課

元気なまちづくり No.2

地域医療の充実と 食のまちづくりによる 日本一健康長寿の元気なまち

社会を担う若い生命を守り育てるとともに、保護者の子育てにおける安心の確保を図るため、平成15年5月以来休診している市民病院小児科の再開をめざします。

食品業界における不正表示の問題などから、食の安全に対する関心が高まりを見せる中、食のまちづくりについては、家庭や学校、地域などにおける本市ならではの食育を推進するため、『食育推進基本計画』を策定するとともに、フォーラムの開催などにより、食に関する市民意識の高揚を図っていきます。

また、市民の心身の健康づくりへの関心を高め、自らが楽しく学び実践する場として『さわやかいきまり健康づくり大学』を開催するとともに、メタボリックシンドロームに着目した健康診査など、生活習慣病の予防や各種の健康づくり事業に取り組み、日本一の健康長寿のまちづくりを推進します。

● 中核的病院整備推進事業 4112万円

西部保健医療圏（伊万里市・有田町）の中核となる新統合病院の整備を推進します

(財源) 諸収入1561万円 市2551万円 問合先 公的病院統合推進室

● シルバー人材センター支援事業 1235万円

高齢者の就業促進に取り組むシルバー

バー人材センターに対し、支援を行います

(財源) 市1235万円 問合先 長寿社会課

● 緊急通報システム事業 331万円

突発的で緊急を要する疾患などに対応するため、在宅の一人暮らし高齢者などに緊急通報機器を貸与します

(財源) 市331万円 問合先 長寿社会課

●食を活かしたまちづくり事業

133万円

『食のまちづくり推進計画』に基づき、市民と行政との協働により事業を推進し、食育推進基本計画を策定します

（財源）市133万円

問合せ 男女協働・まちづくり課

●老人保護措置事業

1億4447万円

おおむね65歳以上で、環境上の理由および経済的理由により在宅での生活が困難な高齢者を養護老人ホームに措置します

●敬老会開催事業

741万円

敬老会を開催するとともに、地域経済の活性化と地域振興を図るため、1人あたり額面3000円の敬老祝い商品券を贈呈します

（財源）市741万円

問合せ 長寿社会課

●老人クラブ活動事業

299万円

市老人クラブ連合会および各町単位老人クラブに対し、補助を行います

●第5次老人保健福祉計画策定事業

133万円

第4期介護保険事業計画との整合を図りながら、老人保健・福祉施策の事業量の目標設定などを内容とする老人保健福祉計画を策定します

（財源）市133万円

問合せ 長寿社会課

●病院群輪番制病院運営事業

460万円

（財源）県86万円 市213万円

問合せ 長寿社会課

（財源）市133万円

問合せ 長寿社会課

●予防接種事業

4730万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児の各種予防接種および高齢者のインフルエンザ予防接種を実施します

（財源）市4730万円

問合せ 健康づくり課

●健康増進事業

2672万円

市民の健康保持を目的に、各種健（検）診、健康相談などを実施します

（財源）県74万円 諸収入678万円 市1920万円

問合せ 健康づくり課

●さわやかいまり健康づくり大学推進事業

5万円

市民一人ひとりが健康づくりへの関心を高め、日本一健康長寿の元気なまちづくりを推進するため、総合的な学習の場として、さわやかいまり健康づくり大学を開設します

（財源）市5万円

問合せ 健康づくり課



伊万里産の旬の食材を使う『ふるさと薬膳レストラン』



市内各地で行われるゲートボール



『たっしやか体操』で健康づくり



七つ島コンテナターミナル

企業誘致と地場産業の育成による 雇用の拡大と いきいきと働ける元気なまち

相次ぐ工場などの増設に伴い、伊万里団地および七ツ島工業団地の分譲が大きく進んでいる状況にあることから、団地の完売に向け、企業への誘致活動のさらなる強化に努めるとともに、将来における企業誘致の受け皿として、多様化する企業の立地動向に対応した工場適地の調査・研究に取り組んでいきます。

また、誘致企業などは、市外からの通勤者が多いうえ、今後の大規模な雇用拡大も予定されていることから、このことを定住促進の好機ととらえ、新たに設置した企業向けの相談窓口による積極的な転入支援に努めます。

●伊万里・アジアネットワーク事業

584万円

中国をターゲットに、伊万里の持つ資源を活用して経済交流を促進していくため、販促活動を中心に現地活動拠点の設置をめざし、その方策を探ります

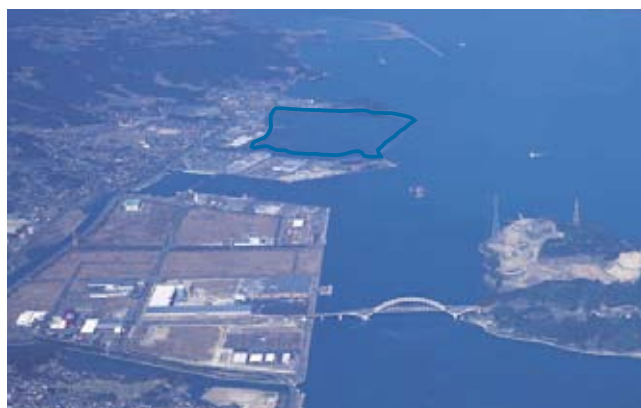
財源 諸収入200万円 市384万円

問合せ 開発推進課

●中小企業振興資金貸付事業

1億7018万円

産業振興策として、市内中小企業の



平成 21 年 7 月給水開始に向け工事が進む第 4 工業用水道の建設。貯水施設建設地（山代町久原海面貯水場跡）【写真上青線枠内】では、海水の閉め切り堤の築造工事などが行われています【写真下】

●伊万里共同高等職業訓練校支援事業

8万円

本市における建設技能者の育成を図るため、伊万里共同高等職業訓練校に対し、支援を行います

財源 市8万円

問合せ 商工観光課

●工場等設置奨励事業

3102万円

投下固定資産が2000万円を超える投資に対し、農工法による課税免

除および半島振興法による不均一課税を行い、不均一課税分は翌年度に納税額を奨励金として交付し、工場などの新設、増設の推進を図ります

財源 市3102万円

問合せ 商工観光課

●企業訪問等立地勧奨事業

115万円

優良企業の誘致を実現するため、豊富で良質な労働力や東アジア地域に近い地理的優位性を積極的にPRするなど、企業訪問を中心として立地勧奨を展開します

財源 市115万円

問合せ 企業誘致推進課



教育・福祉の充実と 子育て支援による安心して 子どもを産み育てる元気なまち

少子化傾向が依然として継続し、核家族化や地域社会とのかかわりあいの希薄化が進む中、安心と喜びをもって子どもを産み育てることができ環境づくりが重要となっています。

このため、本年4月に市民センターへ移転した子育て支援センターについては、子育てに関する情報交換や相談の機会の拡充を図るほか、専用駐車場を整備し、子育て支援の活動拠点としてさらなる利便性の向上に努めます。

また、妊婦が安心して出産を迎え、子どもが健やかに成長することを目的として、妊婦健康診査や子どもの医療費に対する助成制度の充実を図るほか、小学生を対象とした放課後児童対策事業の実施か所を拡大するなど、安心して子どもを産み育てることができまちづくりに取り組めます。



イマリビーチにヒラメの稚魚を放流

●都市公園整備事業（補助）

伊万里ファミリーパーク（いまり夢みさき公園）の施設整備、園路整備を行います

（財源）国1500万円 市債1350万円 市25万円

問合せ 都市開発課

●都市公園整備事業（単独）

伊万里ファミリーパーク（いまり夢）

492万円

みさき公園）の修景施設整備、休養施設整備を行います

（財源）市債370万円 市122万円

問合せ 都市開発課

●特別支援学校留守家庭児童健全育成事業【新規】

伊万里養護学校に通学している児童・生徒を対象に留守家庭児童クラブを開設します

（財源）負担金36万円 県378万円 諸収入113万円 市305万円

問合せ 福祉課

●子育て支援センター事業

子育て相談業務や多様化する保育需要

3324万円



4月に市民センター内にオープンした『子育て支援センターぼっほ』

要に応じた一時保育、休日保育などの子育て世代への支援を行うとともに、市民センター内への移転に伴い、より多くの人々に利用してもらうために、前年度に取得した駐車場用地の整備を行います

（財源）国1940万円 県533万円 市債620万円 市231万円

問合せ 福祉課

●留守家庭児童クラブ管理運営事業

就労などにより、昼間保護者のいない家庭の児童（小学1～3年生）に対し、安全な生活の場や遊びの場を提供し、健全な育成を図ります

（財源）使用料1739万円 県1833万円 諸収入35万円 市1265万円

問合せ 教育総務課

●一時保育促進事業

保育園児でない在宅の乳幼児を一時的に保育園において保育する私立保育園に対し、支援を行います

（財源）県257万円 市129万円

問合せ 福祉課

●幼児インフルエンザ予防接種費助成事業

小学校就学前児童のインフルエンザ予防接種に要する費用の一部を助成し、保護者の負担軽減を図ります

（財源）市171万円

問合せ 福祉課

● **こども医療費助成事業** 【新規・歯科診療分助成】 **449万円**

3歳から小学校就学前までの児童について、入院時の医療費に係る自己負担額の一部を助成するとともに、平成20年4月診療分から新たに歯科診療に係る自己負担額の全額を助成します

（財源） 県72万円 市377万円

問合せ 福祉課

● **保育園運営事業** **17億2467万円**

市内の公立6、私立17保育園および認定こども園、市外保育園の運営に要する経費です

（財源） 負担金3億9765万円 使用料41万円 国4億3776万円 県2億2202万円 諸収入713万円 市6億5970万円

問合せ 福祉課

● **4か月児訪問事業** 【新規】 **30万円**

生後4か月までの乳児がいる家庭を対象に訪問活動を行い、育児に関する不安や悩みへの対応、子育てに関する情報の提供、さらには児童虐待の早期発見などに努めます

（財源） 国15万円 市15万円

問合せ 健康づくり課

● **地域小児医療体制整備事業** **750万円**

西部保健医療圏（伊万里市・有田町）における小児医療体制の充実をめざす



地域の人と一緒に『もぐら打ち』を行う南波多保育園児

（財源） 市1751万円

問合せ 健康づくり課

● **不妊治療エンゼルサポート事業** **75万円**

不妊治療における人工授精・高度生殖医療は健康保険適用外であり、治療費が高額となることから、その一部を助成し、不妊で悩む家庭の経済的負担の軽減を図ります

（財源） 市75万円

問合せ 健康づくり課

● **学校適応指導教室事業** **421万円**

不登校児童・生徒の学校復帰を支援するため、生涯学習センターと旧ポリテクセンター内に学校適応指導教室『せいら』を開設します

（財源） 県330万円 市91万円

問合せ 学校教育課

● **スクールアドバイザー事業** **442万円**

教育相談の専門的な知識・経験を有するスクールアドバイザーを小学校に配置し、適切なカウンセリングを実施します

（財源） 県221万円 市221万円

問合せ 学校教育課

● **特別支援児童生徒サポート事業** **683万円**

小・中学校においてLD（学習障



波多津小学校で開催される『一輪ピック』

（財源） 市683万円

問合せ 学校教育課

● **『オンラインワン』のさが体験活動支援事業** **280万円**

子どもたちの豊かな感性と郷土への理解・愛着を醸成するため、佐賀のよさを生かし、かつ地域の実状に応じた農林水産業や窯業などの地場産業体験活動を実施します

（財源） 県280万円

問合せ 学校教育課

教育・福祉の充実と子育て支援による
安心して子どもを産み育てる元気なまち

●へき地区区高等学校生徒通学費助成事業 300万円

へき地区区から県内の高校へ通学する生徒について、保護者の経済的負担を軽減するため、通学費の補助を行います

〔財源〕 県150万円 市150万円

問合せ先 学校教育課

●きらきら伊万里っ子育て事業 102万円

児童・生徒の豊かな心の育成および自己実現の基礎となる学力の向上をめざすため、指導資料を作成します

〔財源〕 県42万円 市60万円

問合せ先 学校教育課

●学校図書館支援センター推進事業 370万円

学校図書館の効果的な活用や運営のあり方について調査研究を行うため、市民図書館内に学校図書館支援センターを設置するとともに、協力校（大坪小、松浦小、東山代小、啓成中、青嶺中）を指定し、学校図書館業務に携わる協力を配置します

〔財源〕 国370万円

問合せ先 市民図書館

●小学校プール整備事業 600万円

老朽化の著しい小学校プールのろ過機について、改修および新規ろ過機の増設などを年次的に行い、教育環境の整備を推進します



市民図書館で『貸出係』に挑戦する保育園児

〔財源〕 市債450万円 市150万円

問合せ先 教育総務課

●小・中学校遠距離児童生徒通学費助成事業 2574万円

遠距離通学の児童・生徒の通学手段を確保するため、スクールバスの運行や通学費などの助成を行います

〔財源〕 市2574万円

問合せ先 学校教育課

●外国青年招致事業 1093万円

市内の小中学校へ外国人英語指導助手（ALT）を派遣し、英語教育や授業の補助を行い、子どもたちに『生の英語』に触れ合う機会や外国文化

に触れる機会を設けます

〔財源〕 諸収入16万円 市1077万円

問合せ先 学校教育課

●中学校耐震化事業 163万円

平成18年度に実施した耐震化優先度調査に基づき、耐震診断を行います

〔財源〕 国54万円 市109万円

問合せ先 教育総務課

●中学校建設事業 2300万円

老朽化の著しい国見中学校について、年次計画に基づき校舎などの実施設計および地質調査を行います

〔財源〕 市2300万円

問合せ先 教育総務課

●幼稚園預かり保育事業 11万円

黒川、波多津東幼稚園で、正規の開園時間終了後や長期休業期間中、希望する園児の預かり保育をします

〔財源〕 使用料11万円

問合せ先 教育総務課

●青少年相談・補導活動事業 178万円

いじめ、不登校、非行など問題行動が増加する中で、子どもや家庭が抱える悩みなどを相談できる体制・環境を確立し、問題の早期解決に努めます

〔財源〕 財産収入12万円 市166万円

問合せ先 生涯学習課

●放課後子ども教室推進事業 90万円

安全・安心な子ども活動拠点（居場所）を設け、地域の人たちの参画を得て、子どもたちと共にさまざまな学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを推進します

〔財源〕 県60万円 市30万円

問合せ先 生涯学習課

●ブックスタート事業 33万円

生後3か月の赤ちゃんとその保護者に、3か月児健診時に絵本を配付するとともに、ボランティアと協働で読み聞かせを行います

〔財源〕 市33万円 問合せ先 市民図書館



ブックスタート事業

活力ある農林水産業の育成と 商業を中心とする 中心市街地が輝く元気なまち

本市の基幹産業である農業については、収益性の高い魅力ある農業の確立を図るため、国の農政改革に対応しつつ、中山間地である本市の特色を生かした生産基盤の整備を進めるとともに、認定農業者や集落営農組織などの担い手の育成強化を促進します。

また、安全でおいしい農産物を市民に提供する地産地消の推進をはじめ、豊かな自然環境や地域資源を有する農村の特性を活用したグリーンツーリズム推進事業に取り組むなど、農産物の消費拡大や都市住民の交流人口の増加を図り、農業と農村の活性化に努めていきます。

一方、市街地においては、商店街の活性化に向けた指針づくりや街づくり活動への支援を行い、にぎわいの創出を促進します。



川内野地区で行われる黒米の田植え

●中山間地域等直接支払交付金事業

1億8114万円

中山間地域における農業生産条件の是正、耕作放棄地の発生防止、水源かん養、洪水防止などの多面的機能の維持増進を図るため、交付金を交付します

(財源) 県1億3613万円 市4501万円
問合先 農業振興課

●国営伊万里土地改良事業担い手農家負担金助成事業

103万円

担い手農家の土地改良事業負担金償



木須町・伊万里梅園での『観梅』

還を軽減するため補助を行います
(財源) 県51万円 市52万円

問合先 農業振興課

●新たな米政策対策事業

2095万円

生産組織の育成、強化による良質な米、麦、大豆の安定的供給を確立するため、生産組織が実施する高性能機械導入などの経費に対し、補助を行います

(財源) 県1576万円 市519万円
問合先 農業振興課

●有害鳥獣対策事業

315万円

農作物に深刻な被害をもたらす有害鳥獣の駆除に要する経費および駆除従事者の確保のための狩猟免許取得

に要する経費の一部助成などを行います
(財源) 市315万円
問合先 農業振興課

●水田農業構造改革対策特別事業

228万円

米政策改革を円滑に推進する中で、水田農業における需給調整や担い手の育成・確保による生産活動の集積化など、水田農業の構造改革を促進するため、その活動母体となる生産組合に対し、補助を行います
(財源) 市228万円
問合先 農業振興課

●グリーンツーリズム推進事業

132万円

本市の特色ある農畜水産物の魅力を市内外にPRすることにより、農畜水産物の評価向上と地域間交流を促進し、農業・農村の活力増進を図ります
(財源) 県76万円 市56万円
問合先 農業振興課

●『伊万里農業未来塾』新規就農者育成確保推進事業

30万円

新規就農希望者を対象に、農作物の栽培管理や農機具の操作などの講習、指導を行う『伊万里農業未来塾』を開催します
(財源) 県15万円 市15万円
問合先 農業振興課

●若い農業者就農促進事業 84万円

就農前の技術取得を促進し、優れた技術・経営能力を持った青年農業者を確保するため、就農研修資金の償還額の一部を助成します

財源 市84万円 問合せ 農業振興課

●農地・水・環境保全向上対策(営農活動支援)事業 230万円

地域において農地などの良好な保全とその質的向上を図ることを通じ地域の振興に資するため、地域ぐるみでの効果の高い共同活動に加え、農業者ぐるみでの先進的な営農活動を支援します

財源 市230万円 問合せ 農業振興課

●農業・食品産業強化対策整備交付金事業(農産対策) 333万円

土地利用型農業を図り、集落営農組織の育成、法人化を推進するための施設・機械などの導入を支援します

財源 県333万円 問合せ 農業振興課

●魅力あるさが園芸農業確立対策事業 2765万円

園芸(果樹、野菜)を経営の柱とする自立専業農家の育成、確保を図るため、農業用機械や施設の導入に要する経費の一部を助成します

財源 県2127万円 市638万円 問合せ 農業振興課

●魅力あるさが園芸農業確立対策事業(新規・伊万里梨再構築プロジェクト) 457万円

平成22年に伊万里市を主会場に『全国ナシ研究大会』が開催されるため、園地の老木化が進む梨の改植事業などに対し、支援を行います

財源 県352万円 市105万円 問合せ 農業振興課

●銘柄茶生産対策事業 12万円

平成21年に『九州お茶まつり佐賀大会』が開催され、その一環として九州茶品評会が行われるため、知名度アップ、銘柄確立に向け、展示園場の設置などに対し、支援を行います



梨の受粉作業の様子



伊万里牛



伊万里梨



伊万里産きゅうり



伊万里産小ねぎ

●伊万里牛振興会支援事業 190万円

伊万里牛の銘柄確立(関西市場での共励会)と販路拡大(東京市場)を図り、伊万里牛の生産振興を促進します

財源 市190万円 問合せ 農業振興課

●さが畜産自給力強化対策事業 433万円

伊万里産の肥育素牛の生産拡大を図り、あわせて畜産農家と耕種農家が連携した資源循環型農業を推進するため、牛舎およびふん尿処理施設

財源 市433万円 問合せ 農業振興課

機械の整備に必要な経費や自給飼料の増産を図るための機械などの導入に対し、助成します

財源 県333万円 市100万円 問合せ 農業振興課

●小規模土地改良事業 700万円

国、県の採択基準に適合しない農道舗装、水路改良などの小規模な土地改良事業に対し、支援を行います

財源 市700万円 問合せ 農山漁村整備課

●基盤整備促進事業 802万円

生産性の向上および効率的・安定的な農業経営基盤を確立するため、水田のかさ上げ、排水路の改修などの基盤整備を行います

財源 分担金120万円 県564万円 市118万円 問合せ 農山漁村整備課

●中山間地域総合整備事業 3847万円

県営事業で『伊万里西部(二里町、東山代町、山代町)』を整備します

財源 分担金1222万円 市債1390万円 市1235万円 問合せ 農山漁村整備課

●農免農道整備事業 840万円

県営事業で松浦3期地区を整備します

財源 市債750万円 市90万円 問合せ 農山漁村整備課

●農地・水・環境保全向上対策（共同活動支援）事業 1325万円

農村地域の適切な地域活動の継続により、農地、農業用水などの資源および農村環境が将来にわたり良好な状態で保全・管理され、その質的な向上が図られるよう、地域ぐるみの共同活動の支援を行います

（財源） 県50万円 市1275万円

問合せ 農山漁村整備課

●ため池災害防止事業 300万円

災害の未然防止、農地の保全、農業生産の維持および農業経営の安定を図るため、老朽化したため池の改修を行います

（財源） 分担金45万円 県150万円 市105万円

問合せ 農山漁村整備課

●ため池等整備事業 1587万円

老朽化したため池の改修を県営事業で行います

（財源） 分担金245万円 市債1120万円 市222万円

問合せ 農山漁村整備課

●海岸保全事業 150万円

県営事業で『東山代地区』を整備します

（財源） 市債130万円 市20万円

問合せ 農山漁村整備課

●森林施設計画策定事業 53万円



農業用水路の整備工事

●伊万里産木材利用促進事業 250万円

経営面の不採算性から間伐材の活用促進を図ることが困難な状況であるため、木材の搬出に係る経費の一部を助成することにより、地元材の活用を促すとともに、林業経営の安定

平成14年度から18年度までに取り組んだ『森林を守る交付金事業』により策定した47団地分の森林施設計画について、造林事業の円滑な推進を図るため、5年経過をめどに段階的な計画の更新を行います

（財源） 市53万円

問合せ 農山漁村整備課

化を図ります

（財源） 市250万円

問合せ 農山漁村整備課

●林道整備事業 760万円

県代行事業として整備を進めている林道の境界杭設置などを行うとともに、市で購入する必要がある用地（山林、原野）を購入します

（財源） 市債370万円 市390万円

問合せ 農山漁村整備課

●木工芸センター改修事業 257万円

供用開始以来20年を経過しようとしている木工芸センター（ピノキオの家）が、腐食などにより劣化が進行しているため、利用者が安全に利用できるよう改修工事を行います

（財源） 市257万円

問合せ 農山漁村整備課

●沿岸漁業振興特別対策事業（補助） 300万円

クルマエビセンター養殖池の砂を入れ替え、池内の水質環境の改善、堆積物排出作業の効率化を図り、養殖エビの生産性向上を図ります

（財源） 県200万円 市100万円

問合せ 農山漁村整備課

●街づくり活動支援事業 45万円

中心市街地の活性化を図るため、伊万里商工会議所が実施する中心市街



伊万里の夏を彩るどっちゃん祭り

●どっちゃん祭り事業 150万円

伊万里の夏祭りとして定着している『どっちゃん祭り』の実施に対し、支援します

（財源） 国60万円 市90万円

問合せ 商工観光課

●いまり秋祭り事業 306万円

『いまり秋祭り』を運営する振興会に対し、支援します

（財源） 国122万円 市184万円

問合せ 商工観光課

活力ある農林水産業の育成と
商業を中心とする中心市街地が輝く元気なまち



平成20年第1回定例会

議会報告

平成20年度予算以外の主な内容をお知らせします

平成20年第1回定例会が3月3日から26日まで開かれました。今回の定例会では、15ページまでに説明してきた平成20年度の予算議案12件のほか、条例議案18件、一般議案11件、平成19年度補正予算議案8件、報告1件と一般市政に対する質問などが行われました。審議の結果、提出議案は、すべて原案のとおり可決・承認されました。ここでは、平成20年度の予算議案以外の主な内容をお知らせします。

条例議案

市民交流プラザ条例

自主的な市民活動を支援し、市民と行政の協働によるまちづくりを推進するとともに、障害者などが自立した日常生活と社会生活を営むことができるよう支援する場として、市民交流プラザを設置することに伴い、条例を制定するものです。

ふるさと応援寄附条例

本市のまちづくりに賛同する人々の寄付金を財源として、寄付者のまちづくりに対する意向を具体化することにより、多様な人々の参加による個性豊かな活力あるふるさとづくりに資するため、条例を制定するものです。

乳幼児の医療費の助成に関する

条例の一部を改正する条例

3歳から小学校就学前までの児童の入院費の半額助成に加え、歯科の通院費についても助成を行うため、改正するものです。

予算議案

平成19年度一般会計補正予算(第7号)

一般会計の歳入歳出予算の総額から8553万3000円を減額し、補正後の予算総額を211億68万8000円とするものです。

※歳出補正の主なもの

- ▽障害児保育事業費補助金 267万円
- ▽新たな米政策対策事業費補助金 △1030万円
- ▽バス路線運行事業費補助金 6584万円

一般議案

消防事務の委託の廃止の協議

長崎県松浦市と本市との間に締結している消防事務の委託期間が、平成20年3月31日をもって満了することから、消防事務の委託を廃止することについて、協議を行うものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

委員 重松洋氏、小島由紀子氏、本山貞夫氏、坂本善義氏および金子恵子氏の任期がそれぞれ平成20年3月31日で

満了することに伴い、重松氏および小島氏を再任するとともに、新たに森日出子氏、兼武修治氏および川原正紀氏を選任するものです。

公平委員会委員の選任

委員 大原巖氏の任期が平成20年5月4日で満了することに伴い、同氏を再任するものです。

一般市政に対する質問

一般質問が3日間行われ、市政に関する諸問題について13人の議員から36項目におよぶ質問が行われました。

委員会報告

3常任委員会に付託された議案は、それぞれ次の要望が付され、原案のとおり可決または承認すべきものと決定されました。

総務委員会

ふるさと応援寄附条例は、その趣旨に賛同が得られるよう広く周知に努力し、目的の推進を図ってください。

文教厚生委員会

後期高齢者医療制度が4月

産業建設委員会

小規模土地改良事業は地域の要望が多く、予算などの関係で他事業の活用が行われていますが、今後の申請状況に応じた予算措置と事業費上限の回復を行ってください。



広報 伊万里

平成20年度
予算特集号

■発行日/平成20年4月15日
■発行編集/伊万里市情報広報課広報係
(0955)23-4313(ダイヤルイン)
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
■伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
■印刷/株式会社 三光